

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

「被災地の情報発信による観光まちづくり事業」 学生による取材風景の動画配信のご紹介

「被災地の情報発信による観光まちづくり事業」では、いわき市在住の外国人留学生が主立って、いわきの日常を中心に取材を行い、ウェブサイト「グローバルネットワーク」等を活用した国内外への情報発信を行っております。このたび、同サイト内においてその取材の様子が動画でご覧いただけるようになりましたので、ご紹介します。



ウェブサイト「グローバルネットワーク」トップ画面（一部抜粋）

New 「making Movie」

学生がいわき市内各所を見学し、関係者に取材しているようすや、取材した内容を記事にして情報発信をしているようすなどがご覧いただけます。音声は日本語、テロップは日本語と母国語で作られています。

making Movie 一例 - 「塩屋崎灯台」

(画像は動画より一部抜粋)



各所を見学



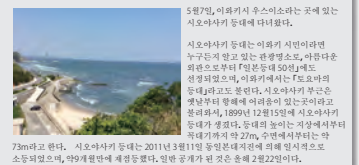
関係者への取材

取材記事の投稿

動画でみられるように取材をした「いわきのいま」を、文章と写真で記事にまとめ、『学生レポート』として発信しています。

学生レポート一例 - 「塩屋崎灯台」

시오야사키(塩屋崎) 등대 Date 2014/05/08



5월7일, 이와키시 우스이초라는 곳에 있는 시오야사키 등대에 다녀왔다.

시오야사키 등대는 이와키 시의 이와키리(石川) 앞 해안, 해자가 만들어져서 만들어졌다. 미소라리(미소의)의 등대라고도 불린다. 시오야사키 등대는 옛날부터 등대에 이용이 있는 곳이라고 불리지만, 1899년 12월 15일에 시오야사키 등대가 건설되었다. 등대의 높이는 73m이며, 등대기둥의 약 27m, 구면에서부터는 약 73m라고 한다. 시오야사키 등대는 2011년 3월 11일 동일본대지진에 의해 일시적으로 소멸되었으며, 49개월만에 재건되었다. 일반 공개가 된 것은 올해 2월 22일이다.

등대에 오르기 전에, 가수「시오라히라리」의 가비(歌)를 들었다. 「미다레가비」라는 노래의 가비(詞) 앞에서는, 해자가 만들어져서 만들어졌다. 미소라리(미소의)의 가비(詞)는, 시오야사키 등대라고도 불린다. 미소라리(미소의)의 가비(詞)는, 옛날부터 등대에 이용이 있는 곳이라고 불리지만, 1899년 12월 15일에 시오야사키 등대가 건설되었다. 등대의 높이는 73m이며, 등대기둥의 약 27m, 구면에서부터는 약 73m라고 한다. 시오야사키 등대는 2011년 3월 11일 동일본대지진에 의해 일시적으로 소멸되었으며, 49개월만에 재건되었다. 일반 공개가 된 것은 올해 2월 22일이다.

(韓国語投稿、一部抜粋)

■ 講演会「わたしが撮った3.11ー久之浜の記憶ー」開催報告 ■

2月14日（土）、いわき総合図書館において開催している東日本大震災アーカイブ写真展の関連企画として、いわき市久之浜地区を撮影し続けている石川弘子さんの講演会を開催しました。同図書館4階会議室を会場に、定員を大幅に上回る32名の方にお集まりいただきました。

■ 講演

動画および写真で久之浜の震災当時の津波や火災等被災のようすやご自身の被災体験を振り返るとともに、復旧復興の歩みを細かに説明していただきました。また「記録を残すという大きなことではなく、視たものを写していかなければならないという想いの積み重ね」と写真を撮り続ける想いなどが語られました。

■ フリートーク

休憩後、質問や講演の感想、被災体験や想いを語るなど、ざっくばらんに意見交換をしました。石川さんは1枚に込めた想いが写真を通して誰かに繋がっていくと語り、大切だと思う瞬間を写し残してほしいと結びました。



<石川弘子さん> <講演のようす> <講演で使用した写真(抜粋)>



<フリートークのようす>

🍀 アーカイブ写真展は5月31日まで開催！石川さんの写真もパネルや閲覧ファイルにてご覧いただけます 🍀

■ 第3回 震災アーカイブ室講演会 開催のご案内 ■

「震災記録の保存事業」の一環として、第3回となる公開講演会を開催することとなりました。今回は、原発避難を余儀なくされた地域に焦点を当て、その体験を記録されてきた方々をお呼びし、原発避難の現状や原発事故からの復興について講演していただきます。後半は、コーディネーターを交えたトークセッションを行います。入場料は無料です。広く多くの方のご参加をお待ちしています。

【はまどおりのきおく3ー原発避難のいまー】

日時：平成27年3月1日（日）13:00～15:35 場所：いわき明星大学 AV 大講義室

内容：講演者紹介・講演（13:00～14:15）

- 講演1 賀澤 正氏 ● 広野町出身 ● NPO 法人 浅見川ゆめ会議 事務局長
- 講演2 平山 勉氏 ● 富岡町出身 ● 富岡インサイド / 相双ボランティア 主宰
- 講演3 大橋 庸一氏 ● 双葉町出身 ● いわき・まごころ双葉会 事務局長

トークセッション（14:30～15:35）



<開催案内ポスター>

■ 第31回ミニ相談会 開催報告 ■

2月18日（水）、いわき市教育委員会より本田氏を講師にお迎えし、第31回ミニ相談会を開催しました。今回は、いわき市の学校給食に関する取り組みとして、震災によって給食調理場の一部が稼働停止となった状況でどのように給食を提供してきたか、提供する食材等の放射性物質検査の概要および検査結果についてお話しいただきました。参加者からは、給食に関わる放射性物質検査について多くの質問が挙がりました。



<講師：本田 宜誉氏
(いわき市教育委員会学校支援課課長)>

<ミニ相談会のようす>

次回ミニ相談会のご案内（第32回）

日時：3月17日（火）10:30～12:00 場所：いわき地域復興センター

テーマ：「いわき明星大学からの最新情報」

～放射性セシウムの新たな除去法と農作物への移行
そして非破壊式放射能検査装置の紹介～

講師：いわき明星大学 科学技術学部 教授 佐藤 健二



文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンター的機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-awaki.net/>

